

2022 年度第 2 回音環境運営員会議事録

記録：河原塚透（幹事）

日時：2022 年 9月27日（火）17:00～19:00

場所：Zoom を用いたリモート会議

出席者：坂本慎一（主査）、河原塚透（幹事）、平栗靖浩（幹事）、會田祐、池上雅之、石渡智秋、古賀貴士、佐久間哲哉、杉江聡、辻村壮平、富来礼次、富田隆太、中川武彦、中澤真司、羽入敏樹（前主査）、浜田幸雄、平光厚雄、星和磨（敬称略）

欠席者：佐藤洋（敬称略）

提出資料：

2022年度第2回議事次第

資料2-0 2022年度第1回音環境運営委員会議事録（案）

資料2-1(1) 220927_環境工学本委員会（第2回）議題

資料2-1(2) 220927_環境工学本委員会（第2回）資料

資料2-2(1) AIJ2022若手優秀発表採点シート_score順

資料2-2(2) AIJ2022若手優秀発表採点シート_高評価数順

資料2-3 2023年度大会オーガナイズドセッション

資料2-4 大会細分類・細々分類2022

資料2-5(1) 2022環境工学委員会設置期間

資料2-5(2) 環境：活動計画・予算原案等提出依頼

資料2-5(3) 【音環境運営委員会】廃止申請書2022_10

資料2-5(4) 【音環境運営委員会】設置申請書2022_10

資料2-5(5) 【音環境運営委員会】2023活動計画

資料2-6(1) 02_功績概要記入書式_橘秀樹先生

資料2-6(2) 02_大賞候補功績理由書書式_橘先生

議題：

前回議事録（2022年度第1回）を確認し、誤字の修正と下記____を加筆・修正後、承認された。（資料 No.2-0）

P.2 上から10行目・・・音環境は羽入先生しか学会賞（論文）を授賞していないため・・・なお、学会賞（技術）は2020年に大林組が受賞している。

P.3 ③その他・・・建築紛争の実態と対応・・・ →・・・建築紛争の予防と対応・・・

1) 環境工学本委員会の報告（資料 No.2-1(1), (2)）

- ・ 直営出版物販売状況：2021年度在庫部数、AIJES学校施設（425）、AIJESスピーチプライバシー（364）、AIJES音声伝送（690）、直営刊行物は電子書籍も可、音環境はまだなし
- ・ 委託発行図書販売状況：販売等部数、建築物の遮音性能基準と設計指針 第二版（3,827）、建物の遮音設計資料（4,150）、実務的騒音対策指針 第二版（3,544）、建物の床衝撃音防止設計（1,215）、はじめての音響数値シミュレーション プログラミングガイド（1,500）、建築の騒音防止設計（3,077）
- ・ 2021年度シンポジウム実施結果：環境工学全体で9回開催、音環境は第81回音シンポジウム（建築音響測定への数値シミュレーションの活用とその可能性）の1回
- ・ 2022年度竹中育英会研究助成金交付者：環境工学全体で3件、音環境はなし
- ・ 2023年度鹿島学術振興財団研究助成金候補者募集：2022年9月30日 申請締切
- ・ 2022年度大会関係：発表件数 環境工学全体で1,186件（前年比+19）、英語講演30件
- ・ 2022年度大会研究集会資料（カーボンニュートラルに向けて）が会員限定で無償公開されることが決定
- ・ 2023年度大会関係：学術講演会電子投稿の締切4月4日、プログラム編成4月19日～26日、大会開催9月12日～15日（京都大学吉田キャンパス）
- ・ 2023年度開始特別研究委員会設置募集：構造・環境・計画の分野横断的研究を募集、3件程度採択予定
- ・ 2023年度開始若手奨励特別研究委員会設置提案募集：2023年4月1日時点で40歳以下の会員が対象、2件程度採択予定、10月20日 応募締切

- ・ 建築会館会議室のオンライン会議利用：建築会館2階、3階の全会議室に電子会議室機材を常設、アカウントについては、担当職員まで連絡
- ・ 関東大震災100周年タスクフォースからの依頼事項：各運営委員から盛り込むべき提言があればということで、環境工学からは、空気環境、建築設備運営委員会からいくつかの提言があった
- ・ 委員会等における女性会員の参画機会の拡大について：女性会員の参画のお願いがあった。男女共同参画に関する諸活動を行うことが目的
- ・ 2023年度日本建築学会技術部門設計競技の件：環境工学本委員会幹事団の提案、課題「カーボンニュートラル社会を実現する「新しい」環境建築コンセプト」を募集、提出期限は2023年6月15日、最優秀賞：1点、優秀賞：3点以内、佳作：若干
- ・ 教育賞（教育業績）候補推薦の件：提出期限10月3日、環境工学からはまだ手が挙がっていない。過去音環境は2018年に藤本先生が受賞
- ・ 大賞業績候補の推薦の件：2022年は環境工学から石野先生（設備運営委員会・熱運営委員会共同推薦）を推薦したが受賞はできなかった。他分野から3名が受賞
- ・ 卒業論文等顕彰事業委員会委員推薦の件：音環境は岡本先生、2023年も継続
- ・ 2023年度大会：大会細分類・細々分類の見直しは、音関係は変更事項なし
環境工学部門研究協議会テーマ案：コロナ危機がもたらす建築環境工学の新たな展開
- ・ 2023年度環境工学委員会予算配分方針：基本部門と研究部門の予算配分比率を10：1位で例年通りとすることが基本。近年はコロナ禍で予算が余る傾向。
- ・ 出版関係：音環境は特になし
- ・ 調査研究員会主催し物関係：シンポジウム「建築音響測定への数値シミュレーションの活用とその可能性」の実施報告があった。
- ・ 委員の委嘱・解嘱の件：室内音響小委員会 子どものための音環境WG 1名の委嘱が認められた

2) 審議事項（資料 No.2-2(1)(2), 2-3, 2-4, 2-5(1)(2)(3)(4)(5), 2-6(1)(2)）

- ・ 2022年度建築学会大会若手優秀発表賞選考について：候補者28名の1割程度→3名。得点上位3名で異議なく決定
- ・ 2023年度大会OSについて：音響数値解析小委員会が担当、「音環境数値シミュレーションの新展開 2023」が異議なく決定
- ・ 2023年度大会 細分類・細々分類：プログラム編成等で特に問題がないので特に修正なし
- ・ 廃止申請，設置申請，活動計画：10月20日に事務局に提出する必要があるため、各主査は10月13日までにオンラインストレージ上のフォルダに提出。予算書の旅費算定はストレージ上の[参考]23ryohi.pdfの金額を参照
- ・ 大賞推薦の検討：音環境は本年も橘秀樹先生を推薦。石野先生（設備・熱共同推薦）も手を挙げているため次回本委員会で、昨年度と同じ2名で選挙になる可能性大。橘秀樹先生を今後も推薦し続けることを確認
- ・ 第1回チュートリアル報告：3月1日に実施、83名の参加、収支は大幅な黒字、質疑応答も活発で盛会であった。実施報告書は修正なく承認された。
- ・ AIJES刊行方針検討WG：WGを廃止し、日本建築学会環境基準作成小委員会を設置。音環境からの委員は引き続き池上さん（メール審議済）

3) 各小委員会・WGの活動報告（資料 No.1-2、1-3）

① 固体音小委員会

- ・ 第1回を6月8日、第2回を7月27日に開催。大会OSの概要紹介、インピーダンスの予測比較、今後の活動内容等に関する討議など。次回10月7日開催予定

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・ 前回から開催なし。鉄道騒音測定・評価方法のための聴感実験方法について検討中。次回を10月下旬に開催予定

③ 建築音響測定法小委員会

- ・ 第2回を7月21日に開催。現場における低音域の室内音場の評価に関する実験計画に関して討議。小林理研で実施した音響エネルギー密度実験結果をICAへ投稿。次回を9月29日に開催予定
- ④ 室内音響小委員会：前回から開催なし。次回 10月14日開催予定。次回からまとめとして、室内音響小委で取り組むべき課題等について検討を行う予定
 - ・ 子どものための音環境 WG：第1回を6月22日にハイブリッドで開催。発信のためのパンフレットのコンテンツについて素案検討中。委員1名追加
 - ・ 啓発コンテンツ WG：第1回を6月7日に開催。オフィスにて吸音効果を体感する会の日程調整中
 - ・ 吸音設計 AIJES 検討 WG：第1回を6月8日、第2回を7月27日、第3回を9月9日に開催。AIJESは早めを目指す手続き上4年くらいかかる見込み。今年度は規準の基本的枠組みを9月末、規準の検証と修正を1月末、構成・目次・執筆担当の決定を年度末までに行う予定。
- ⑤ 音響数値解析小委員会：第1回を6月17日に開催。書籍のチュートリアル第1回、第2回について議論。WGを新たに作る方向で議論を開始。次回を10月4日に開催予定
- ⑥ 音環境規準検討小委員会
 - ・ 第2回を7月4日、第3回を9月12日に開催。事務所の AIJES 整備方針について議論。次年度の設置計画に関連して、委員の世代交代を徐々に進める方針を共有。第4回を11月7日、第5回を1月10日に開催予定
 - ・ 集合住宅音環境 AIJES 検討 WG：第4回を8月10日に開催。幅広い合意形成に向けて、11月頃を目標にオンラインでオープンな意見交換の場を設ける計画。第5回を10月6日に開催予定
- ⑦ 企画・広報 WG
 - ・ 第1回を7月7日、第2回を8月25日に開催。これまで議論してきた新しい企画について意見をまとめアンケートを行うことを決定し、その内容について討議。まずはメンバーと近い方を対象として下アンケートを行い、その後運営委員会と小委員会の委員などを対象として実施予定。9月30日に幹事団で打ち合わせを実施予定
- ⑧ 実用的遮音計算方法 WG
 - ・ 第2回を7月27日に開催。「実務的対策指針」「建物の遮音設計資料」を網羅する方向で資料作り、章立てを検討開始。遮音、騒音伝搬を主に、防振計算、固体音伝搬などを含めていく。第3回を9月29日に開催予定
- ⑨ その他
 - ・ 司法支援建築会議講演会 12月9日 13:00～ 建築会館ホール・オンライン 「自然災害を巡る建築紛争の予防と対応」

4) 各他学会・研究会の予定

- ① 日本音響学会・建築音響研究会：10/13 数値解析、11/15 一般（東大生研で騒音振動研究会との共催）、12/8 学校音響
- ② 日本音響学会・騒音振動研究会：10/6 騒音の可視化（同志社大学）、11/15 一般（東大生研で建築音響研究会との共催）、12/12 音デザインとの共催、1/18 音の伝搬・一般
- ③ 音響学会23年春季研究発表会：3/15～17 オンライン
- ④ 音響学会23年秋季研究発表会：日程未定 名古屋工業大学 対面開催
- ⑤ 騒音制御工学会23年春季研究発表会：4/20 オンライン（OS担当分科会 床衝撃音、不思議音、ノイズマップ）
- ⑥ 騒音制御工学会23年秋季研究発表会：11月頃 山梨大学 開催方法未定

5) その他

- ・ なし

6) 次回以降の予定

第3回：2022年11月8日（火）17:00-19:00（本委員会 11/8）

第4回：2023年3月2日（木）17:00-19:00（本委員会 3/2）

以上